

平成21年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成20年7月25日

上場会社名 株式会社 アトム
コード番号 7412 URL <http://www.atom-corp.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植田 剛史
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理・財務担当 (氏名) 宮川 拓
四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

上場取引所 東 名
TEL 052-249-5225

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	6,001	—	54	—	65	—	42	—
20年3月期第1四半期	6,630	23.3	247	17.0	276	19.8	274	22.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	0.93	0.92
20年3月期第1四半期	7.32	5.74

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	14,402	5,446	37.8	95.53
20年3月期	13,821	4,929	35.7	83.78

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 5,446百万円 20年3月期 4,929百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
(基準日)	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	—	—	1.00	1.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	13,164	—	482	—	475	—	55	—	2.40
通期	26,247	△0.2	903	△19.8	878	△25.2	431	△48.3	10.96

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (3) 発行済株式数(普通株式)
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 38,251,796株 20年3月期 36,251,796株
② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 173,083株 20年3月期 184,067株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年3月期第1四半期 36,823,224株 20年3月期第1四半期 36,251,796株

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、サブプライムローン問題に端を発した金融市場の低迷、原油価格や原材料、穀物価格の高騰等の影響により景気は減速傾向が続きました。

外食業界におきましても、先行きの不透明感に加え、ガソリン価格や食料品、一般消費財の値上がりにより個人消費が低迷する中、食品偽装問題等の食に対する不信感から消費者離れの傾向にあり、ますます厳しい状況となっております。

このような状況の中、当社はお客様のニーズを追求したメニューの開発、従業員教育の強化に努め、店舗の基盤強化を進めてまいりましたが、焼肉業態での競争激化による来店客数の低迷や、原材料価格の上昇、従業員不足改善のための人件費上昇等、経営環境は非常に厳しいものとなりました。

各事業部門の概要は以下の通りです。

①すし部門

すし部門では新規出店はありませんでした。

改装につきましては、「にぎりの徳兵衛」直営店2店舗、「海鮮アトムボーイ」直営店1店舗を行いました。

この結果、当期末の店舗数は93店舗（直営店74店舗、F C店19店舗）となり、売上高は24億84百万円となりました。

②レストラン部門

新規出店につきましては「最良屋」直営店1店舗、「いろはにほへと」直営店1店舗、「NIJYU-MARU」直営店1店舗の合計3店舗を出店いたしました。

業態変更につきましては「がんこ亭」から「濱ふうふう」へ直営店1店舗、「ザ・フォーロン」から「ウイルビー」へ直営店1店舗、「唐楽家」から「韓の食卓」へ直営店1店舗、「がんこどり」から「濱ふうふう」へ直営店1店舗の合計4店舗（直営店4店舗）を行いました。また「時の国歓喜」直営店がF C店へ1店舗異動いたしました。

閉店につきましては「がんこどり」直営店1店舗、「カルビ大将」F C店1店舗の合計2店舗（直営店1店舗、F C店1店舗）を行いました。

この結果、当期末の店舗数は174店舗（直営店159店舗、F C店15店舗）となり、売上高は34億96百万円となりました。

③その他の部門

ロイヤリティ、加盟金等、「その他」の売上高は20百万円となりました。

以上の結果、当期における店舗数は合計267店舗（直営店233店舗、F C店34店舗）、売上高は60億1百万円（前年同期比9.5%減）、営業利益は54百万円（前年同期比78.1%減）、経常利益は65百万円（前年同期比76.4%減）、当期純利益は42百万円（前年同期比84.3%減）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債、純資産の状況

当第1四半期末における総資産は144億2百万円となり、前事業年度末に比べ5億81百万円増加いたしました。これは主に、借入金増加に伴い現金及び預金が4億23百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は89億55百万円となり、前事業年度に比べ64百万円増加いたしました。これは主に、流動負債で短期借入金が増加したこと、未払金が増加したこと等によるものであります。

また、純資産は54億46百万円となり、前事業年度末に比べ5億16百万円増加いたしました。これは主に、転換社債型新株予約権付社債の権利行使が当第1四半期にあり、資本金、資本剰余金がそれぞれ3億円増加したことによるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期末の現金及び現金同等物の残高は35億1百万円となり、前事業年度末に比べ4億23百万円増加いたしました。当第1四半期におけるキャッシュ・フローは次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

1億85百万円増加いたしました。

その主な要因は、売上債権の減少(88百万円)、減価償却費の計上(1億73百万円)によるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

1億99百万円減少いたしました。

その主な要因は、有形固定資産の取得による支出(1億86百万円)、敷金保証金の返還による収入(72百万円)であります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

4億37百万円増加いたしました。

その主な要因は、短期借入金の増加(5億円)、長期借入金の純増加(81百万円)及び配当金の支払(1億44百万円)等によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

原材料高を背景に個人消費の伸びが鈍化するなど国内景気はさらに減速しておりますが、現時点においてこの状況が今後当社の業績に与える影響を予測することは困難であるため、平成20年4月25日発表の業績予想を変更しておりません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

①一般債権の貸倒見積高の算定につきましては、直前期で用いた貸倒実績率を使用しております。

②繰延税金資産の回収可能性の判断につきましては、前年度の検討において使用した将来の業績予想や、タックスプランニングを使用しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

②リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっていましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号)を当第1四半期から早期に適用しております。なお、リース取引開始日がリース会計基準適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引につきましては、引き続き賃貸借取引に係る会計処理を行っております。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,501	3,077
売掛金	165	254
たな卸資産	118	114
その他	672	552
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	4,456	3,998
固定資産		
有形固定資産		
建物	4,509	4,466
構築物	449	464
土地	835	835
その他	453	338
有形固定資産合計	6,248	6,104
無形固定資産		
無形固定資産合計	84	85
投資その他の資産		
投資有価証券	402	375
敷金及び保証金	2,972	3,029
その他	649	640
貸倒引当金	△411	△413
投資その他の資産合計	3,612	3,632
固定資産合計	9,945	9,823
資産合計	14,402	13,821
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,625	1,633
短期借入金	500	—
1年内償還予定の社債	180	180
1年内返済予定の長期借入金	1,499	1,547
未払金	1,282	1,200
引当金	190	165
その他	285	288
流動負債合計	5,563	5,013
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	500	1,100
長期借入金	2,396	2,268
引当金	108	110
その他	386	398

(単位：百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年3月31日)
固定負債合計	3,392	3,877
負債合計	8,955	8,891
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,973	2,673
資本剰余金	1,680	1,384
利益剰余金	846	947
自己株式	△80	△85
株主資本合計	5,419	4,919
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	26	10
評価・換算差額等合計	26	10
純資産合計	5,446	4,929
負債純資産合計	14,402	13,821

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：百万円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
売上高	6,001
売上原価	2,257
売上総利益	3,744
販売費及び一般管理費	
販売費及び一般管理費合計	3,689
営業利益	54
営業外収益	
営業外収益合計	73
営業外費用	
営業外費用合計	62
経常利益	65
特別利益	
特別利益合計	0
特別損失	
特別損失合計	11
税引前四半期純利益	54
法人税、住民税及び事業税	11
法人税等合計	11
四半期純利益	42

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	54
減価償却費	173
賞与引当金の増減額 (△は減少)	32
受取利息及び受取配当金	△5
支払利息	20
固定資産除却損	11
売上債権の増減額 (△は増加)	88
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△4
仕入債務の増減額 (△は減少)	△7
未払消費税等の増減額 (△は減少)	10
その他	△122
小計	251
利息及び配当金の受取額	5
利息の支払額	△25
法人税等の支払額	△46
営業活動によるキャッシュ・フロー	185
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△186
無形固定資産の取得による支出	△2
敷金及び保証金の回収による収入	72
その他	△82
投資活動によるキャッシュ・フロー	△199
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	500
長期借入れによる収入	480
長期借入金の返済による支出	△399
配当金の支払額	△144
その他	1
財務活動によるキャッシュ・フロー	437
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	423
現金及び現金同等物の期首残高	3,077
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,501

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額（百万円）
I 売上高	6,630
II 売上原価	2,460
売上総利益	4,170
III 販売費及び一般管理費	3,922
営業利益	247
IV 営業外収益	94
V 営業外費用	66
経常利益	276
VI 特別利益	16
VII 特別損失	6
税引前四半期純利益	285
税金費用	11
四半期純利益	274